

## 臨床研究「選択的脊髄後根切断術後の粗大運動能力の経年変化について」

ボバース記念病院では、表題の臨床研究を実施しております。

### ①研究の目的

選択的脊髄後根切断術（SDR）を受けられ、当院で術後のリハビリテーションを受けられた方の粗大運動能力の変化およびそれに影響を与える因子について検討します。

### ②研究対象者

2018 年度から 2022 年度に SDR を施行し、当院でリハビリテーションを受けた方になります。

### ④研究方法

過去の診療記録の情報を調査する観察研究です。

### ⑤研究対象期間

倫理委員会承認後から 2024 年 11 月 1 日

### ⑥研究に用いる臨床データ

診断名、性別、年齢、SDR 情報（施行時期・切断率）、粗大運動能力分類システムレベル、粗大運動能力尺度、身長、体重、関節可動域、Modified Ashworth scale、リハビリテーション施行時間。

### ⑦研究実施体制

研究代表者：ボバース記念病院 理学療法士 島恵

データ保存方法：パスワードを設定したパソコンおよびエクセルデータ内で保存します。今後も追跡調査を検討しておりますので、データ廃棄は予定しておりません。

### ⑧問い合わせ先

本研究への情報利用を拒否したい場合や、その他本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

研究代表者：ボバース記念病院リハビリテーション部 理学療法士 島 恵

住所：大阪府大阪市城東区東中浜 1-6-5

電話番号：06-6962-3131（代表）